

まちを動かす
次の一手を
つかみとる



認知症まちづくり ファシリテーター講座

2021年
第5回開催!

1日目：11月6日(土) 11～18時
2日目：11月7日(日) 10～17時

- 会場：アーツ千代田 3331
(東京都千代田区外神田6-11-14)
- 参加対象：認知症の課題を核に地域や組織に変化を起こしたい方、※3人1組のチーム参加（専門性や属性の異なる3名）。詳細は申込ページをご確認ください。
- 参加費：30万円（税別）／チーム
※過去に本講座を受講されたチームが、同じ地域から他の方の参加を希望する場合にリピート割を適用します。
リピート参加：15万円（税別）／チーム
※個人参加は選考の上認めます。すぐにチーム編成が難しいが将来、自分の地域で仲間を募りチームとして参加する意思がある個人の方が対象です。個人参加：5万円（税別）／人
- 申込方法：申込フォームより、事前のお申込みをお願いいたします。定員になり次第、締切とさせていただきます。（最大6チーム）
締切：9月24日（金）24：00まで
※選考結果は9月29日（水）までにお知らせします。



◀ 申込フォーム
<https://forms.gle/T6saE2wqtaLBkP1h9>
問合せ：machi@dfc.or.jp

主催：株式会社 DFC パートナース
共催：株式会社フューチャーセッションズ / 認知症未来共創ハブ

■ 認知症まちづくりファシリテーター講座は会議の進め方やファシリテーションの技術を学ぶだけの講座ではありません。

これまで認知症の課題に対して、いろいろ取り組んできたけれど、ただ自分たちががんばるだけでは解決しないのではないかと考えている方に向けて、どうすれば立場の違う人と本当の意味で課題を共有できるのか、どのような問いの設定をし、どのような場を作れば、前に進むことができるのかを一緒になって考える機会です。

全国の様々な分野でイノベーションを起こしてきた株式会社フューチャーセッションズの皆さん、そして認知症の課題を入口にまちの姿を変えつつある地域の皆さんにご協力をいただき、問いの立て方、対話の場の設計を実践形式で学びます。

4年間実施した講座の経験から、「立場の異なる3人が本気になれば、本当にまちは変わる」という確信を得ました。個人のスキルアップを目指した研修やセミナーとは違いますので、原則、個人参加はできません。同一の地域から3人1組での参加となります。認知症の課題は、まちのあり方を変えないと解決しないという信念をもった皆さんの、チームでの参加をお待ちしています！

地域は自分たちの手でつくる



医療法人静光園 白川病院医療連携室長 (大牟田市)
猿渡 進平



株式会社フューチャーセッションズ セッションプロデューサー
芝池 玲奈



(株)DFC パートナース 代表取締役 / 認知症未来共創ハブ 運営委員
徳田 雄人

■ 新型コロナウイルスに関する対応について 本講座は、内容の性質上、対面での開催を前提に設計しております。会場は定員の50%までの収容人数とし、換気やマスク着用などの感染症対策を実施した上で実施します。なお、開催の最終判断は実施日程の2週間前までに実施し参加予定者にご連絡いたします。感染症拡大などの状況次第で、延期もしくは中止する場合がございます。中止の際は、参加費は返金させていただきます。

認知症まちづくりファシリテーター講座 プログラム

認知症の人が住み慣れた地域の多様なステークホルダーと連携し、新しい解決策を創造していくために必要な「問いづくり」と「ファシリテーションスキル」を学んでいきます。

DAY 1



1. オープニング

全国各地から集まった参加チームの自己紹介を行い、受講生同士の関係性を作ります。

DAY 2



4. ファシリテーション実践!

Days1 で設計したセッションをチームで実践。ファシリテーションしない時は、他のチームのセッション参加者となります。



2. 手法の理解と体験

認知症まちづくりを進めるための6つの対話手法を紹介。講師のファシリテーションの体験を通じて、手法や適用シーンについて理解を深めます。



5. 実践の振り返り

30分ミニセッションのファシリテーションと他チームのセッションへの参加を通して得た気づきや学びを振り返ります。



3. 実践準備

参加チームごとに、自分たちの地域で認知症まちづくりを進めるための問いを考え、30分のミニセッションを設計します。



6. ネクストステップ作成

自分たちの地域でどのように認知症まちづくりを進めていきたいか、ネクストステップを検討します。それぞれのネクストステップを共有し、地域を超えて一緒に認知症まちづくりを進めていくことも考えます。

■ 修了生の感想

◎ 講座を通して何に取り組むのか整理でき、明確になったのが良かった。こういう対話の手法もあるのだと地域の専門職に伝えたい。上手な空間づくりなどもっと学びたい。

(自治体職員 / 女性)

◎ 全国のトップランナーと知り合えて嬉しい。みんなの事業から刺激をうけたい。

(自治体職員 / 男性)

◎ 2日間を経て、まちづくりの考え方や捉え方が変わった。認知症を取り巻く課題のみならず障害や貧困も含め、地域全体から「認知症にやさしいまちづくり」を展開していきたい。地域別懇談会を開催しているが、今年はよりパワーアップさせたい。

(社会福祉協議会 / 男性)

◎ 地元は問題だらけとは思っていたが、この講座に参加することで、何が問題なのかがはっきりとした。具体化した一歩が踏み出せた。

(介護付き有料老人ホーム / 女性)

■ 修了生の、活動と地域のその後

「行政や地元のお店など、まちの人達と活動を行うと、さまざまな意見や準備が広がっていくものです。そんな時、認知症まちづくりファシリテーター講座で学んだ、『問いの共有』が活きました。何のための活動か、メンバーで立ち戻って考えを再確認することで、チームワークが強まり、プロジェクトを実行できました。

まちづくりを続けるには、人を頼って、人を巻き込まないと、みんなの目標を達成できないと思います。だからこそ、人と人をつなぐハブの役割が大事です。自分から、相手の状態に合わせないと、人と人をつなぐことはできません。講座の後、相手を知ること、その人を理解することを、すごく意識するようになりました。

東京都町田市
森 光輝さん(高齢者施設企画室長)
第1回 認知症まちづくり
ファシリテーター講座に、
行政職員・地域介護職員の
チームで参加。受講後、ス
ターバックスでの「まちだ
認知症Dカフェ」(写真)を
開催、認知症当事者と作る
「まちだアイ・ステートメン
ト」作りや「まちだDサミッ
ト」の運営に関わる。



写真前列右・森さん



※株式会社DFCパートナーズの最新情報
(まちづくり / dfshop / イベント企画運営 / 調査研究 / デザイン・制作) を掲載しています。
ぜひ、ご覧ください。 <https://dfc-partners.co.jp>